

2020 年度授業開始にあたって (2020.5.7)

皆さんおはようございます。元気に過ごしていますか。

この映像を収録しているのは5月5日です。昨日、政府から緊急事態宣言の5月31日までの延長が発表されました。

一か月前の4月7日、緊急事態宣言発令を受けて、休校期間を5月6日まで延長しました。4月7日時点の日本の感染状況は、感染者数4168名、死亡者数81名でした。それが5月4日現在で、その数は感染者数15253名と約3.5倍、死亡者556名で約7倍。国民の協力のもと諸外国に比べて爆発的感染拡大は避けられていると評価されていますが、大変厳しい状況には変わりはありません。

現状では、依然として、いつ誰もがコロナウィルスに感染してもおかしくない状況です。ひょっとすると皆さんのお知り合いの方にも感染されて、亡くなったりした方あるいは闘病されている方もいるかもしれません。心からお見舞いを申し上げます。あるいは、医療従事者をはじめ社会のインフラを支えている親御さんも多いと思います。本当に感謝申し上げます。さらに、失業・倒産など経済的不安にさいなまれているご家庭もあると思います。武蔵の授業料の納入については、延納や万が一の家計急変に備えた武蔵奨学金というセーフティネットもあります。遠慮なく相談してください。

さて、こうした状況のもと、武蔵として、改めて5月7日以降も、当分の間、休校期間を延長することにしました。いつ再開するかということですが、今のところ見通しは立っていません。少なくとも首都圏の緊急事態宣言が解除されることが最低条件ですが、そうであっても、武蔵生は、東京はもとより神奈川、千葉、埼玉さらにそれ以外の広範囲な地域からも公共交通機関を利用して本校に通っていることを考えると、生徒諸君の安全・安心が確保できると判断できるまでは、休校状態は解除できないと考えています。学校が再開できるのは、早くても6月中、遅ければさらなる長期戦も覚悟しています。

休校期間中は、生徒の安全・安心を確保する観点から、基本的に登校日は設けません。対面授業に切り替えられる段階になったら、当初は分散登校など、三密を防ぐ上での配慮をしてきたいと考えていますが、先行きは現時点では分かりません。

すでに国のほうでも、この際日本の学校はすべて9月入学制にしようという議論も出てきています。まさに先行き不透明な状況ですが、武蔵は本日より、過日皆さんにお配りした年間計画に基づいて、2020年度の授業を、遠隔によるオンライン授業という形で、本格的に実施することにしました。

今日はガイダンスということで、後ほど教務委員長から詳しく説明がありますが、授業は月曜日から金曜日まで午前中4コマのペースで行ないます。午後は課題の学習や面談などの時間に充てる予定です。

武蔵という学校は、これまで「本物」や「対話」などライブ感を大切にしてきた伝統があります。そうした先生と生徒や生徒間の自由でのびのびとした関係の中で、好奇心や向上心に火をつける仕組みや仕掛けを多数もっていました。ただ、こうした直接的な対面的授業が行えない状況のなかでは、大きな限界があります。そこで、私たちは、これまでの武蔵の良さも踏まえつつ、新たな学びのシステムを構築しようと決め、準備を進めてきました。

中にはパソコンをあまり使わず、愚直にトラディショナルなスタイルを貫いてきた先生もいます。生徒諸君の方も、ネット環境が万全かというところを決してみんながみんなそうではありません。

でもね。こうした状況だからこそ、何かをやってみようという「チャレンジ精神」、そして最初からうまくいくわけではないので、失敗を恐れずにどこかで「楽しもう」という心の余裕、さらに一人一人が分断されるのではなく互いに支え合っていく「助け合い」の精神が必要だと思います。この「チャレンジ、楽しむ、助け合い」の精神で、生徒諸君も私たちもオンライン学習に取り組んでいきたいと思っています。

特に、この1～2週間は、うまくいかないトラブルも多々発生すると思います。どうか「チャレンジ、楽しむ、助け合い」の精神で一緒に新しい学びのシステムを創り上げていきましょう。

遠隔によるオンラインの授業ですので、武蔵が得意としてきた対面授業に比べて限界はあると思いますが、それでも皆さんへの課題学習なども含めて、授業の質を落とさないように、先生方も準備をしています。なお、ご家庭のネット環境が困っているという場合は、遠慮なく組主任の先生に申し出てください。学校としても、一人の脱落者も出さないようにサポートしていきます。

さて、今後の学校の授業日程ですが、大枠は過日、皆さんにお配りした年間計画に基づいて行ないます。従来の夏休みは短縮します。1学期は7月いっぱいまで授業を行ないます。その後8月は夏休み。2学期の始まりも早め、従来武蔵の2学期は9月8日からでしたが、今年度は9月1日から2学期を始めます。その間、残念ながら、皆さんが楽しみに

していた記念祭などの学校行事は、基本的に実施できません。また、例年私たちが大切にしてきた夏休みの泊を伴う学校行事、中1の山上学校、あるいは中2の民泊実習も残念ながら中止といたします。中間試験をどうするか。評価をどうするかなどは、今後の検討課題です。

ところで、この2か月にわたる休校期間、皆さんはどう過ごされたでしょうか。特に、入学したての中1生と大学受験を控えている高3生は、不安は大きいと思います。まず中1生。武蔵への入学おめでとう。まだ入学式は出来ていませんが、いつか必ず実施しましょう。皆さんもすでに武蔵生の一員です。担任の先生からも電話連絡があったと思いますが、一緒にやってみましょう。不安なことがあったら、遠慮なく担任の先生、武蔵では組主任といいますが、申し出て下さい。

それから高3生の皆さん。記念祭や部活動あるいは国外研修でも最後の頑張りを発揮できなかったことは本当に無念だったと思います。その悔しさは言葉にならないでしょう。2020年という年は、当たり前前にできていたことが当たり前前にできない年になりました。

一方で、来たるべく大学入試への不安もあると思います。学校としても学年の先生方や進路指導委員会からの積極的な発信を通して支援をしていきたいと考えています。すでに模擬試験も自宅で実施できるよう準備を進めています。厳しい状況ですが、武蔵生活で培ってきた自ら調べ自ら考えるという自調自考の精神を、この機会を利用して本物の精神に磨き上げていってください。

先ほど申しましたが、ひょっとすると9月入学など、国の大きな制度変更もありうるかもしれませんが、武蔵は武蔵で、いつか対面授業が出来る日まで、今日から敢然と2020年度の「授業」を開始していきたいと思います。

結びに、一か月前にホームページに掲載した2020年度の始業のメッセージでお話ししたことを三つ繰り返したいと思います。

まず一番目。自分と他人、自他の健康と安全をしっかり守ること。

そして二番目。今何をすべきか自分の頭で考えること。今まさにこの瞬間は歴史的な瞬間です。将来の歴史の教科書にも、そのとき人類が何をしたのかと問われる時代を今私たちは過ごしていると思います。この人類史の転換点に生きる高校生中学生として、今貢献できることは何か、将来の貢献に向けて今すべきことは何かをしっかりと考えてほしいと思います。

そして最後に三番目。忘れてはいけないのは、こうした状況だからこそ学びを止めな

い。Never Stop Learning! Never Stop Learning!

いつか武蔵に登校出来る日まで、何よりも健康で、そしてしっかりと過ごして下さい。